

がんばろう
末崎!
津波なんかに
負けない!

館報まっさき

第341号
令和5年5月22日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話 (F 兼) 29-2955

春風のなか躍動

末崎中運動会

末崎中学校(校長 佐々木伸一)は、13日、大運動会を開催した。各校生徒は、68名、各競技に力を入れた。男子は、走り、縄跳び、球技、女子は、走り、縄跳び、球技、各競技で活躍した。また、応援も、各校の特色を出して、観客を魅了した。この運動会は、各校の力を合わせて、大成功を収めた。各校の代表選手は、表彰を受けた。この運動会を通じて、各校の絆が深まり、今後の活動に励むことができた。各校の代表選手は、表彰を受けた。この運動会を通じて、各校の絆が深まり、今後の活動に励むことができた。

獅子舞・権現様・虎舞について12

8 虎舞について

4) なぜ、梯子にのぼるのか

平組はしご虎舞は、前述のように、神社への奉納、祭礼の行列の先導、正月の悪魔祓い等が主な役割であります。広田町根岬の梯子虎舞の伝承としては、『消息を絶った船が、幾日まっても戻らなくて、あきらめていたある日、一匹の斑の猫が樹の上で沖の方を眺めながら踊っていた。不思議に思って、沖のほうを眺めたら、遭難したと思った船が無事に帰ってきた。この樹上で踊っていた猫に感謝の意をこめて、梯子虎舞が生れた。』となっています。

千葉県、鹿野山梯子獅子では、『昔、四国から持ってきたもので、当地の獅子は雄獅子で、四国にいる雌獅子を恋い慕って梯子で踊るのだ』と伝わっています。このような理由になっていますが、私はつぎのように考えたところです。

日本の神々は、姿かたちがなく、また、神社の社殿にいつもいるのではなく、いつもは山や天にいて、呼ばれたときに一時的に降りてくるという考え方があります。そのため、神事には最初に宮司が神降ろしの祝詞をあげます。あるいは祭りの前に、神楽を舞い、鈴をならします。呼ばれた神は尋常でない形や状態のものに依(よ)りつきます。この依りつく先が特定の大木や大石、鏡や御幣などであり、また、神楽の舞手等の、依代(よりしろ)と呼ばれるものがあります。

梯子は天と地をつなぐ架け橋という考え方があります。

昭和47年に熊野神社境内の権(かや)の木が市の天然記念物に指定されるまでは、平組はしご虎舞は、境内の権の木に梯子を架けて舞っていました。現在は境内の広場の地面を掘って根固めをして建てています。これと同じように、千葉県、中台の梯子獅子も神社の境内の木にはしごを架けて演じている写真を見つきました。

祭礼の際、はしごを架けて、虎舞(獅子舞)が天まで神を御迎えに行き、その虎舞に神がのりうつり、それを才舞子(猿田彦)が道案内をして降りてくる姿を表したものと考えました。(紀)

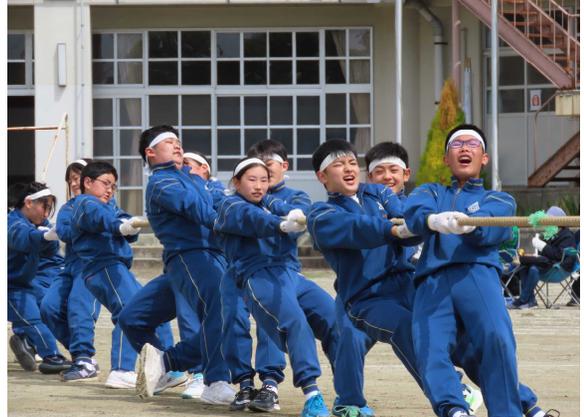


千葉県横芝光町の中台梯子獅子舞



全員が走る。徒競走より注目度が高い。皆死に走る。応援にも力が入る。自然と手にも汗をかき、最後の走者がゴールを切ると、観客の歓声が沸く。毎年このとき、感動する。これぞ運動会だ。今年も、元気に体を動かして、心も元気な姿を見せてくれた。応援も、各校の特色を出して、観客を魅了した。この運動会を通じて、各校の絆が深まり、今後の活動に励むことができた。

★令和5年度末崎地区公民館運営方針
事業計画
末崎地区公民館は、時代の要請を受け、社会福祉の増進と生涯学習の推進を図り、中央公民館、地域公民館、各種機関、団体等との連携を密にしながら、町民の自主活動を積極的に推進し、親睦・融和



* 力強い渾身の綱引き

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|---------------|---------------|-----------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 | 12月 | 11月 | 10月 |
| 末崎町敬老会(10日) | 第2回地域公民館長会議 | 親子茶道教室(7月) | 公民館報発行(月1回) | 第1回地区公民館運営委員会 | 第1回地区公民館運営委員会 | 各種講座、研修会等 | 人口減少、少子高齢化に伴う | 新しいまちづくりを推進する | 住民の話し合いの場を設ける | 第3回地域公民館長会議 |

- | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 副会長 | 事務局長 |
| 大和田東江 | 新沼眞作 | 菅野一郎 | 金野一郎 | 菅野一郎 |